



ホームページ等もご覧下さい

<https://f-hojin.or.jp> Instagram



# ふくしま 法人ニュース



法人会キャラクターけんたくん

令和7年7月1日発行 第566号



## 私のポケット

吾妻山の雪うさぎを背にした代掻き風景を見ながら、原稿を書いています。毎年見ている光景ですが、お米が高騰している現在、改めて米生産者の皆様に感謝を感じています。

今回記事を書くにあたり2021年9月号の寄稿文を見返したところ、コロナ真ただに「マスクをしたままの大人・周りの子供しか知らず・触れ合いも無い環境で育つ我が息子の将来が心配です」と書いておりました。現在は当時の心配もよそに、沢山の人々と素顔で触れ合える喜びを感じながら元気に過ごしています。

しかし、当時予想もしなかった関税戦争、更に日本においては、高騰する物価高の中で、企業として生き延びるための重厚な対策が求められます。

つまり、過去の流れをそのまま続けるのではなく、改めて自社の強みを見つめ直して社員一同一丸となり、この難局を乗り越える意気込みが、求められているのではないかと思います。

私も法人会の皆様の助言により、自社の強みに気付かされたことに、深く感謝しております。法人会の皆様と共に、頑張りますので、よろしくお願いします。  
(小針記)



# 第13回通常総会

令和7年6月2日（月）ウェディングエルティにて第13回通常総会・税務講話を開催しました。

税務講話では、福島税務署法人課税第一部門統括官の佐々木治氏より税務行政のDXとして税務署が取り組んでいる「ALL e-Tax」や「ダイレクト納付の利用」について詳しい説明がありました。通常総会は、福島税務署櫻井正浩署長はじめ多くの来賓の方々にご臨席いただき、また、約160名（他委任状出席1670社）の会員の皆様にご出席いただきました。

議事は令和7年度事業計画・予算等の報告の後、令和6年度決算承認の件、任期満了に伴う役員改選の件等について上程され、全て異議なく承認されました。

令和7年度事業計画には、新たに「会員サービス向上」や「社団化50周年記念事業」が盛り込まれました。

議事終了後には表彰が行われました。受



右から、岸秀年氏、鈴木洋敬氏、千葉会長、三品清重氏、蒲倉久夫氏、鈴木洋子氏

賞者は左記のとおりの方々です。  
総会後は懇親会を開催。再任された千葉政行会長より挨拶があり和やかに開催されました。

## 令和6年度表彰受賞者（敬称略）

### 《役員功労者表彰》

#### 副会長

岸 秀年（トーニチ株）  
鈴木洋敬（税理法人鈴木会計伊達事務所）

#### 理事

五十畑昌之（東北自興味株）  
佐藤武彦（有ダイワプラン）  
菅野 晋（丸進機業株）  
三品清重（株アグリテクノ）  
大内千春（株ウインスリーひかり）  
伊藤淳一（株伊藤製作所）  
蒲倉久夫（株サンダーファミリー）  
鈴木洋子（株ユアライフ）

### 《会員増強表彰》

樋口郁雄（福島信用金庫）  
横山利幸（株福島銀行）

### 《会員増強優秀支部表彰》

#### ◆加入率50%以上3年維持

公益社団法人福島法人会国見支部

### 《福利厚生制度推進表彰》

#### ◆経営者大型総合保障制度推進表彰

（金賞）樋口真紀子

（銀賞）高野恭子

（銅賞）阿部洋子

### ◆ビジネスガイド推進表彰

（銅賞）岩野 大

### ◆アフラック商品推進表彰

（金賞）共進（株）

## 公益社団法人福島法人会 理事・監事名簿

（敬称略・順不同）

役 職	氏 名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 名
会長	千 葉 政 行	（株）サン・ペンディング福島	理事	堀 切 知 之	（有）丸滝	理事	実 沢 芳 史	（有）みざわ建築設計事務所
副会長	齋 藤 義 博	（株）丸福織物	〃	森 藤 洋 一	森藤食品（株）	〃	樋 口 卓 弥	（株）樋口屋商店
〃	紺 野 正 雄	（株）A水技研	〃	酒 井 富 也	（株）酒井東栄コーポレーション	〃	古 川 壮 一	（株）フルカワ
〃	丹 野 善 一	福島紅葉漬（株）	〃	柴 田 和 明	（有）アライブ	〃	阿 部 邦 宏	富久泉工業（株）
〃	渡 邊 英 人	（有）渡辺自動車	〃	大 澤 益 三	（有）益蔵	〃	高 橋 剛	東北コピー販売（株）
〃	引 地 正 樹	（株）キョーシン金型	〃	大和田 利 明	（有）大和田会計事務所	〃	小 熊 弘 人	社会福祉法人あいあい福祉会
〃	藤 倉 伸 祥	（有）藤倉保険企画	〃	酒 井 良 晃	伊達貨物運送（株）	〃	佐 藤 龍 史	（株）SPI
〃	穂 積 寿 男	（有）竹屋菓子店	〃	多 田 憲 司	共進（株）	〃	石 本 理 恵	（株）福島丸公
〃	斎 藤 規 雄	（有）サイトウホーム	〃	渡 邊 浩 二	（株）渡辺工務店	〃	石 井 達 哉	（株）勝栄製作所
〃	伊 藤 信 弘	（株）いちい	〃	阿 部 義 己	（株）阿部ニット	〃	岩 見 孝 之	（株）岩見
〃	佐 藤 真 也	（有）佐藤新聞店	〃	紺 野 学	（株）橋協商店	〃	大 石 洋 介	（有）大石ガラス店
〃	宮 崎 泰 明	スナンエキスプレス（株）	〃	高 橋 好 雄	（有）ふくしま中央交通	〃	大 内 礼 子	大内わら工品（株）
〃	箭 内 一 典	（有）やない製麺	〃	村 山 雅 枝	陽光社印刷（株）	〃	菅 野 敦 史	（株）菅野共栄会計
〃	佐 藤 昌 彦	（税）MASTAC佐藤会計	〃	原 田 純 子	東北精密工業（株）	〃	斎 藤 良 治	（有）大野建築設計事務所
理事	最 上 諭	（株）総合コンサルタンツ	〃	藤 井 拓 哉	（株）アブソープ	〃	佐々木 英 人	杜不動産（株）
〃	後 藤 洋 伸	後藤造園土木（株）	〃	池 田 進 二	福島中央青果卸売（株）	〃	三本杉 裕	（株）三本杉ジオテック
〃	三 浦 康 伸	東開クレテック（株）	〃	羽 田 和 徳	（株）たまのや	〃	穴 戸 宏 行	（有）穴戸ビジネスマネジメント
〃	福 地 雅 人	（株）フクトウ	〃	佐 藤 光太郎	（株）フレック	〃	高 橋 進	（株）高德
〃	桃 井 三 夫	（株）日新土建	〃	箱 岩 偉	（有）テレサ	〃	成 茂 彩 生	朝日システム（株）
〃	大和田 知 昭	（株）大丸工務店	〃	藤 野 圭 史	（株）藤野	〃	芳 賀 一 夫	会津建設（株）
〃	村 山 広 一	陽光社印刷（株）	〃	横 山 りつ子	（有）おりおり	監事	樋 口 郁 雄	福島信用金庫
〃	手 塚 健 一	（株）ウェディングエルティ	〃	鈴 木 武 雄	税理士法人鈴木会計	〃	佐 藤 正 志	（有）佐藤会計事務所
〃	日 下 直 哉	（株）クサカ印刷所	〃	佐戸川 政 実	福島飯金工業（株）	〃	上 樫 大	（株）東邦銀行
〃	齋 藤 嘉 紀	丸藤ガラス（株）	〃	大 橋 広 明	日東物産（株）			
〃	加 納 武 志	（有）菅野地所	〃	富 塚 新 吉	進和ビジネス（株）	外部理事	佐々木 史 隆	佐々木史隆税理士事務所
〃	佐 藤 万 吉	（株）山和	〃	佐 藤 一	東北精密工業（株）	外部監事	行 形 裕 司	行形裕司税理士事務所
〃	星 野 真 弘	（株）星野合金	〃	横 山 利 幸	（株）福島銀行			



## 《事業者のデジタル化促進に向けた取組について》

国税庁では、「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」税務行政の将来像2023」を公表し、「納税者の利便性の向上」、「課税・徴収事務の効率化・高度化」及び「事業者のデジタル化促進」の3つの柱に基づいて施策を進めることとしています。

特に、事業者のデジタル化は、税務行政の効率化に資するだけでなく、社会全体の経済取引の効率化や正確性の向上などにつながる取組と考えており、国税当局としても事業者のデジタル化促進に取り組んでいるところで

す。  
デジタル化には、請求書のデジタル化、会計ソフトの導入、e-Taxによる申告やキャッシュレス納付などがあり、事業者がご自身のデジタル化の現状を確認できるものとして、今般、「デジタル化チェックシート」を作成いたしました。事業者ご自身により「デジタル化チェックシート」の各項目の状況を確認していただくとともに、社

内・事業所でのデジタル化に関する情報の共有や、今後、会計ソフトの導入や税務手続のオンライン化などのデジタル化を進めていく際の参考にしていただきたいと考えています。  
仙台国税局ホームページにも掲載しておりますので、是非ご活用いただきますとともに、本取組について、御理解と御協力をお願い申し上げます。

### 【仙台国税局 HP「デジタル化チェックシート」掲載ページ】

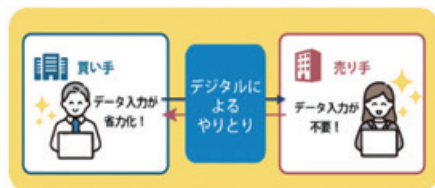
<https://www.nta.go.jp/about/organization/sendai/jigvovsyadeji/checksheet/index.htm>



### ＜法人事業者用デジタル化チェックシート（抜粋）＞

法人事業者用 デジタル化チェックシート			
このチェックシートは、事業者の税務のデジタル化（ペーパーレス、キャッシュレス）についての現状を自己チェックしていただき、デジタル化を進めるに当たっての各ツールや手続等に関する理解を深めていただくことを目的としたシートです。各手続の詳細は、下記の二次元コードから各HP等をご覧ください。			
① ペーパーレス			
チェック項目	チェック欄		
経理業務等のデジタル化	<input type="checkbox"/> 手書き	<input type="checkbox"/> Excel等の表計算ソフト	<input type="checkbox"/> 自社・市販のソフトウェア
帳簿のデジタル化	<input type="checkbox"/> 手書き	<input type="checkbox"/> Excel等の表計算ソフト	<input type="checkbox"/> 自社・市販のソフトウェア
クラウド会計ソフトの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
デジタルインボイスの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
全額EDI（B2-B2B）の導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
AI-OCRの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
電子帳簿保存法	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
電子取引データの保存	<input type="checkbox"/> 対応中（国手帳面）	<input type="checkbox"/> 対応済み	
帳簿・書類のデータ保存	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 適用済み（〇厳密検索）
スキャナ保存	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 適用済み
IT導入補助金の申請	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 申請済み
② キャッシュレス			
チェック項目	チェック欄		
支払金控	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
クレジットカード決済の導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
インターネットバンクの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
Peppol・全額EDIの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
電子納税（キャッシュレス納付）	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
法人税	<input type="checkbox"/> 紙の納付書	<input type="checkbox"/> ダイレク納付 インターネットバンキング	<input type="checkbox"/> クレジットカード インターネットバンキング
消費税	<input type="checkbox"/> 紙の納付書	<input type="checkbox"/> ダイレク納付 インターネットバンキング	<input type="checkbox"/> クレジットカード インターネットバンキング
源泉所得税	<input type="checkbox"/> 紙の納付書	<input type="checkbox"/> ダイレク納付 インターネットバンキング	<input type="checkbox"/> クレジットカード インターネットバンキング

### ＜デジタル化による一貫した事務処理が実現した場合＞



《業務や税務手続のデジタル化のメリットについて》  
税務手続のデジタル化と併せて、経済取引や業務もデジタル化することにより、事業者の方が日頃行う事務処理の一貫したデジタル処理が可能となります。EDIやPeppolなどを活用して一貫したデジタル処理が実現することで、事業者の方の生産性の向上に加え、経営の高度化が期待されます。  
デジタル化による一貫した事務処理が実現した場合、①手作業が減って、煩雑な業務から解放、②ミスが減って業務がスピードアップ、③本来やるべき業務に集中して売上アップ、④書類の保存コストが減少等、様々なメリットが考えられますので導入をご検討ください。

### 県税からのお知らせ

#### 《eLTAXが便利です》

福島県では、eLTAX（地方税ポータルシステム）による、電子申告、電子納付、電子申請・届出が可能です。

#### ◇対象税目

法人県民税・法人事業税・特別法人事業税・県民税（利子割、配当割、株式等譲渡所得割）・たばこ税・ゴルフ場利用税・軽油引取税・産業廃棄物税

eLTAXで、申告から納税までワンストップで手続きを行うことができ、金融機関へ出向くことなく、複数の地方団体へ一括で納付できるため、大変便利です。

なお、資本金1億円超の普通法人等が行う令和2年4月1日以後に開始する事業年度の申告については、eLTAXによる提出が義務化されておりますので、御注意ください。

◇eLTAXの操作に関しては、eLTAXヘルプデスク（電話0570-08-1459）にお問合せください。

◇その他、県税に関しては、最寄りの地方振興局県税部または県庁税務課までお問い合わせください。

（県庁税務課）



# 所得稅基礎控除 見直しについての考察

昨年の令和6年には定額減税が実施され、所得稅から本人及び扶養親族等に1人当たり3万円の減税がなされました。課稅される稅額が減稅額に達しないケースでは減稅を補足する給付が行われました。また、住民稅所得割が課されていない世帯等には別に給付金が措置されました。このように減稅と給付金を組み合わせた今までにない少し込み入った制度でした。この定額減稅は令和6年限りの措置です。

そして令和7年では所得稅の基礎控除の改正が国会審議を経て決まりました。今までは所得金額が2,400万円以下であれば48万円でした。そのためサラリーマンであれば給与所得控除の55万と併せて103万円の控除となりこの収入以下であれば所得稅は掛かりませんでした。今回の改正でこの基礎控除の額が引き上げられ、おおよそ200万円以下の収入の場合は基礎控除が95万円となり、給与所得控除も55万円から65万円に引き上げられたので併せてサラリーマン等給与所得者であれば収入が160万円以下であれば所得稅が掛からないこととなります。今

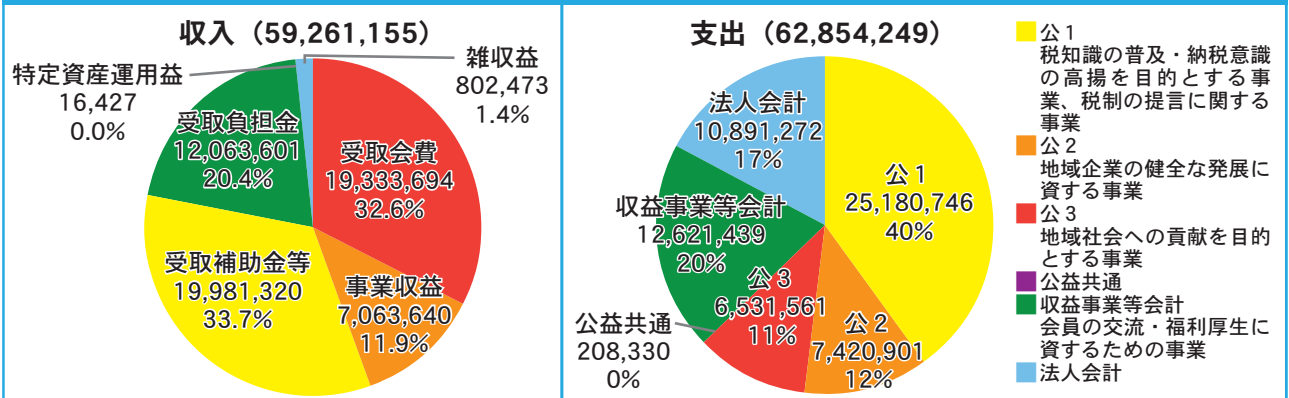
までは103万円の壁といわれていましたがそれが160万円に引き上げられたこととなります。しかしこれまではよほどの所得がない限り48万円の基礎控除で一定していましたが今回の改正では少なくとも令和7年及び令和8年に關してはおおよそ200万円を超えて収入が上がっていくごとに基礎控除が段階的に減額されていくこととなります。従って今年の年末調整においては各給与所得者の収入により基礎控除の額が違ってくるのでその点について十分注意を払う必要が出てきます。以前は年末調整に必要な書類は扶養控除等申告書、保険料控除申告書でしたが現在ではそれに基礎控除申告書等の3枚となり年末調整の事務は煩雑になってきています。

租稅制度の原則は公正、中立、簡素といわれていますが公正、中立はさておき簡素については昨年の定額減稅、また今回の所得稅基礎控除の見直しについてもその逆をいっていると言わざるを得ません。社会、經濟が複雑化してきており、また国の財源確保の観点からもある程度理解できないことはないのですが我々実務家としては少し考えさせられるところです。

東北税理士会福島支部 白岩 裕嗣

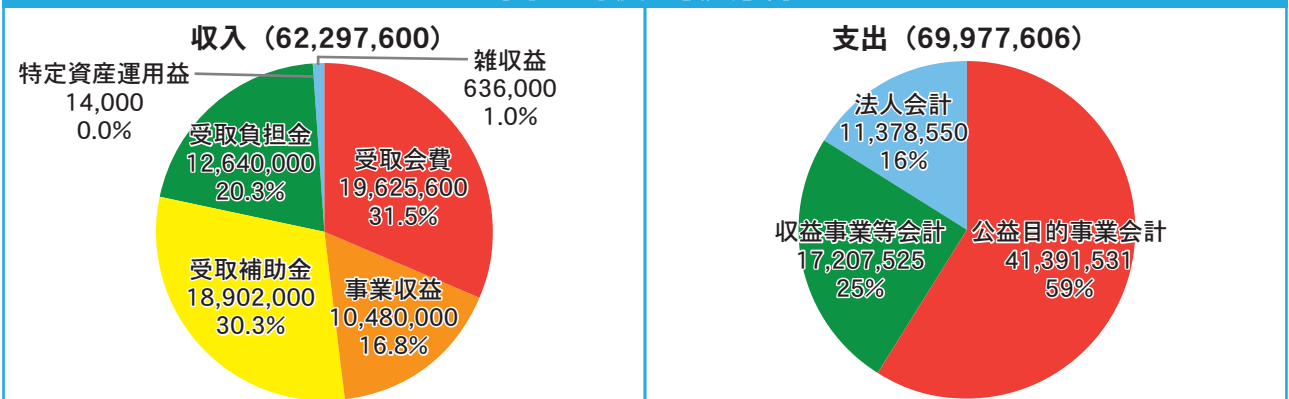
## 令和6年度 決算（正味財産増減計算書）

（単位：円）



## 令和7年度 収支予算

（単位：円）



詳しい内容は、福島法人会ホームページの情報公開資料から確認することができます。

## 青年部会

### ・第13回研修交流会開催

(令和7年5月26日)

斎藤新部会長あいさつ

このたび、福島法人会青年部会の部会長を務めさせていただくことになりました。身が引き締まる思いとともに、青年部のさらなる発展に向け、尽力してまいります。

本年度は、「研修広報」「税制交流」「社会貢献」の三つの委員会を中心に活動



を進めていきます。これらの委員会を通じて、学びの機会を提供し、法人会の活動を広め、地域社会への貢献を強化していきたいと考えております。また、女性部会との連携を図りながら、法人会の両輪の一つとして、より力強い組織づくりを目指します。

青年部をより良いものにするのは、部会員一人ひとりのアイデアと協力です。皆様の積極的な参加が、新しい価値を生み出し、活気ある組織へと成長させる原動力になります。その環境を整え、誰もが力を発揮できる場をつく



ることが、私の役割だと考えています。皆様とともに、挑戦し、学び合い、社会に貢献できる青年部を築いていきましょう。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### ・献血活動

2025年6月1日、福島法人会青年部・社会貢献委員会の第1回献血活動を、道の駅ふくしまにて行いました。当日は今年度の社会貢献委員会の大波委員長を中心に協力し、無事に活動を行うことができました。

今回の活動報告としては受付合計81名・献血人数72名の方々に協力頂き、過去最高に迫る多くの方に献血のご協力頂きました。お手伝い・献血のご協力を頂いた部会員そして親会・女性部会・OB会の皆様にも多大なるご協力を賜りました事お礼申し上げます。

次回の献血活動は、10月5日道の駅ふくしまで実施します。今回に引き続き沢山の皆様のご参加お待ちしております。



## 女性部会

### ・移動例会

四月二十二日、会員十五名で「大桑原つつじ園」「ジュピアランドひらた」に行ってきました。つつじはまだ咲き始めてしたが、新緑に包まれ、花を愛でながら歩くのはとても爽快でした。昼食は石川町の「蕎麦美人」です。日本庭園を眺めながら、お蕎麦はもちろんのこと、他のお料理どれもが絶品でした。隠れ家的な雰囲気があったので、

「ジュピアランドひらた」では、ま

だ桜が観られ、芝桜との共演は、思わず足を止めて見入ってしまいます。展望デッキまで歩くも好し、カートで楽々行くも好し、それぞれのペースでゆっくりと楽しみました。

「日本一辛い村」で知られる平田村。道の駅には激辛づくしが並んでいました。迷った末に私が選んだのは、激辛ポテトチップスとハバネロタバスコです。自宅では恐る恐る食べてみると、意外にも美味しいと高評価！皆様はいかがでしたか？

今回は、ふくしまの春を十分に満喫した会となりました。皆様のご協力に心より感謝いたします。



### ・第十三回研修交流会

令和七年五月二十三日、ウェディングエルティにおいて女性部会の第十三回研修交流会が開催されました。櫻井税務署長、宮崎法人会副会長、実沢青年部会長、関連保険会社代表の方々と、ご来賓をお迎えし、会員約二十一名の出席をいただきました。

スローガン唱和、鈴木洋子部会長の挨拶、来賓紹介ののち、議事に移行しました。議事第三号議案までスムーズに進み、令和七年度事業計画、収支予算まで全会一致で承認されました。又、今年度は役員改選の年度であり、鈴木部会長より、原田純子新部会長へとバトンが渡されました。女性部会より鈴木部会長へ感謝を込めて花束の贈呈があり、七年度は新メンバーで船出することになります。税務署長より祝辞、又、女性部会の主な活動である、ゼイキンフェス、租税教室、絵はがきコンクールに關しての温かい励ましのお話もいただき、改めて身の引き締まる思いを致しました。

続いて懇親会が行われ、青年部会長の乾杯のご発声の後、和やかに歓談、親睦を深めました。



公益社団法人福島法人会女性部会 第13回研修交流会



## 令和5年度「税に関する高校生の作文」

福島地区税務関係団体協議会長賞

### 震災から学んだこと

福島県立福島南高等学校 一年 山木 優 奈

あなたはあの日のことを覚えているだろうか。そう、二〇一一年三月十一日の東日本大震災だ。あの日は、母と学校から帰ってきたばかりの兄と三人でテレビを見ていた。突然、地鳴りがして家が左右に揺れ動き、家の物がどんどん倒れていく様子を見て、恐怖で震えあがったのを覚えている。地震がおさまリ、家族全員無事だったが、家の中が散乱し、いつもとは違う光景に違和感を感じ、当時三歳だった私は大泣きしたことを覚えている。また、父が公務員として町役場で働いていたため、災害時に招集されてしまう。家族の中で父の存在は大きかったため、家族全員不安で仕方がなかった。ラジオから聞こえてくるたくさんの被害情報は不安と悲しみであふれかえった。これが三歳ながらに覚えている印象的な出来事だ。

しばらくし、私が小学校高学年になったときに授業で東日本大震災について調べた。その時、印象に残ったのが「復興特別所得税」という言葉だ。復興特別所得税とは、東日本大震災からの復興財源に充てるために、通常の所得税に上乗せして徴収される特別税のことだ。この税は主に、仮設住宅や堤防や道路などの復旧、放射能汚染地域の除染に使われてい

るようだ。

これまで私は「税金」という言葉を聞くと、生きていく上でたくさん耳にする言葉であり、たくさん種類があるため、とても厄介で苦手意識があった。しかし、復興特別所得税は被災者である私にとって興味深く、知る必要がある税金だと思った。税金がなければ、犯罪を取り締まる警察官がいなくなり、町中はトラブルだらけになり、子供たちが安心して学べる環境がなくなったりと、様々なデメリットがある。

東日本大震災は私たちからたくさんものを奪った。しかし、復興特別所得税を中心とした様々な支援のおかげで、被災者は少しでも救われたような気がする。税金は面倒かもしれない。しかし、それ以前に生きていく上で必要不可欠であり、なくなってしまうと大切なものだということも分かった。これからは、私よりも下の世代の子供たちに税金のすばらしさを伝え、税について知り、考えてほしいと思う。そして、将来の日本のために納税をして、社会に貢献していきたいと思う。

## 新規加入者紹介

\*新入会員のうち情報公開に同意いただいた会員のみを掲載しています

法人名	代表者	住所	業種
(株) SoraHana不動産	高橋 一仁	福島市入江町14-13 七福人ビル202	不動産
川原自動車(株)	佐藤 勇貴	福島市南矢野目字柳田前6	自動車整備
(株) 瀬川建設	瀬川 正留	福島市飯坂町平野字久根際2-1	建設業

## 福島法人会よりインターネットセミナーのご案内

福島法人会のホームページから無料でセミナーがご覧いただけます

<https://f-hojin.or.jp> ⇒ 左バナー  をクリック

ID・パスワードは

会員ID: 1291 パスワード: 5012



会員の方は600タイトル以上のセミナーが無料で受講できます

お問い合わせは福島法人会事務局まで TEL:024-536-1291

税金クイズ

※2025年5月号の答え ①…② ②…① ③…① 当選者 五十嵐様、酒井様、藤倉様



# 広報委員長がインタビューしてきました



## ●回答者

福島カラー印刷株式会社

代表取締役 渡辺 泰子氏

(以下、社長)

## ●インタビュアー

広報委員長 伊藤 信弘氏

(以下、委員長)



左から伊藤委員長、渡辺社長

社長 特にはあり

ませんでした。  
アウトソーシン

グする前は仕事が重なってくると社内の雰囲気重くなつて大変でしたが、今はそんなこともなくなり、残業も減ってきています。

また、制作の仕事を断ることもなくなりました。社内では出来ない場合はアウトソーシングすれば良いわけですから。さらに、アウトソーシングした業務の出来上がりを見て、社員は新しい知識を吸収しているように思います。

人手不足対策にもなり悪い点はないように感じています。

**委員長** AIを利用して業務の効率化を図っていると伺っております。どういったことを行っているのですか。

**社長** 一例ですが、①業務の打合せを録音したものを文字に起こす。②文字起こしした打合せの記録を要約する。さらにデザインなどの仕事であれば③要約した内容からデザインの原案を作成する。これらをAIやチャットGPTを使って行っています。

最初の業務打合せの際にしっかりとヒヤリングができればデザインの原案はそれなりの精度のものができます。当然そのま

まさんのので、デザイナーが原案を基に納品するデータを作成して、お客様からチェックをいただくといった流れです。

**委員長** AI導入について、コンサルタントからアドバイスを受けているのですか。

**社長** コンサルタントを使っているわけではありませんし、もともと社員のパソコンスキルが高かったとも思っています。

厚生労働省の人材開発支援助成金を活用してオンライン研修を3か月受講してもらい社内にAIが使える人を育成しました。

これらの人が中心となって業務のデジタル化が出来そうな業務の洗い

**委員長** 本日はお忙しい中、ありがとうございます。

デジタル化に積極的に取り組んでいらっしゃる福島カラー印刷株式会社の渡辺社長に、業務のデジタル化についてお話を伺いたいと思います。よろしくお願ひします。

**社長** こちらこそ、よろしくお願ひします。

**委員長** 福島カラー印刷さんの業務内容をお聞かせください。

**委員長** デジタル化に取り組むこととなつたきっかけは何ですか。

**社長** 震災やコロナ禍で社員が出社できなくなつたことがきっかけの一つです。印刷業はデータで作るのが主流ですので、パソコンを使う作業については特に抵抗はありませんでした。

社員が出社できなくとも自宅等から本社のサーバーへアクセスできれば仕事ができると考えて、まずは、社内のデータへ外からアクセスできる方法と仕組みづくりに取り組みました。

現在はこの仕組みを発展させて、育児や介護等でフルタイムでは働けない方を中心に外部委託「アウトソーシング」を行っています。お願いしている方は、もともとデザインの仕事をしていた方やWebに詳しい方であるため大変戦力になっていきます。

**委員長** アウトソーシングすると社員の仕事はなくなってしまうなど社内からの反発はありませんでしたか。





出しを行いました。

**委員長** これからデジタル化しようとしている業務やできなかった業務はありますか。

**社長** 校正作業はデジタル化できませんでした。赤書き箇所を補正するのですが、完全に補正できず、最終的に人がチェックするわけです。最初から人の手で補正したほうが早いとなり、デジタル化をやめました。これからデジタル化をしたいと考えているのは営業の提案内容の洗い出しなどです。徐々に実働しています。

**委員長** 税務関係のDXについても伺います。電子帳簿保存法や申告時のe-Taxの利用、ダイレクト納付や\*デジタルインボイスなど税務関係でもDX化が言われていますが、何か取り入れているものはありますか。

**\*デジタルインボイスとは**

請求情報を、売り手のシステムから、買い手のシステムに対し、人を介することなく、直接データ連携し、自動処理される仕組みのことです。

**社長** 電子帳簿保存法は領収書のスキャナ保存は行っています。始めるときはルール作りが手間でしたが、スキャナしたデータの名称を日付・相手方・金額と決めて月ごとにフォルダを作成して保存するようにして

います。現在は紙保存と併用していますが、書類の管理の手間がなくなるのと、保管場所が不要になるので楽になっていると思います。

申告については税理士さんをお願いしているので社内での作業は発生しませんが、すべてをe-Taxで提出しています。

ダイレクト納付については令和6年の3月から税理士さんの勧めもあり毎月の源泉所得税の納付で使っています。使い勝手は担当者に聞いてもらえればと思います。使いにくい

との話は私は聞いていません。

請求書等をメールでやり取りしている取引先はありますが、いわゆるデジタルインボイスの利用までは至っておりません。

**委員長** DX化することで社内不安やトラブルは起きませんでしたか。

**社長** AIを使う前には「手間が増える」や「間違いが多いのでは」といった声がありましたが、3割の効率化を目指して使ってみようということでした。現在でもAIを活用する人としらない人いるのは確かです。私としてはすべての社員に使ってもらえるかが課題であると感じています。

**委員長** 最後に会員の皆様に何かアドバイスがあればお願いします。

**社長** AIの精度は日々上がってきています。時短にもなりますし、業務の質向上にもつながります。一度使ってみると業務に活用できるヒントが見つかる

思いますので利用してみることをお勧めします。



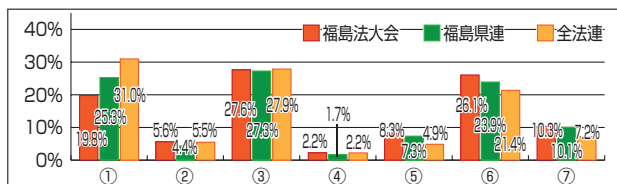
「後日担当者に聞きました」

後日ダイレクト納付に納付方法を変更した感想を伺いました。

使用している会計ソフトがダイレクト納付に対応したものになったため昨年3月から利用を開始しました。以前は納税額等の集計結果を納付書に手書きで記載し、金融機関の窓口で納付していました。ダイレクト納付では数回OKボタンを押せば納付まで完了します。何より土日関係なく納付ができ、銀行に行く必要がないので待ち時間が読めない銀行での手続き時間や移動時間が無くなるのが魅力的です。納付日の指定もできるようですが、早めに納付するように設定しています。

ないを含む)

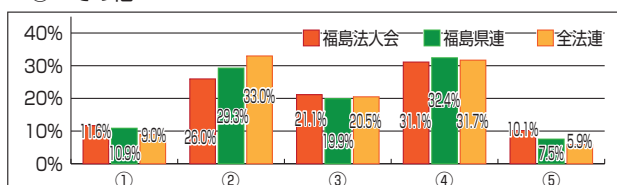
- ④ 事業を売却する ⑤ 事業承継はせず廃業する  
⑥ 当面、事業承継を行う予定はない ⑦ その他



## 問7 事業承継／事業承継税制

政府は、事業承継を促進するための税制支援策を講じています。本年度の改正では、納税猶予制度の特例措置において役員就任要件の見直しが行われました。これまでの改正を踏まえて、事業承継税制について特に重視すべき点を2つ以内で選んで下さい。

- ① これまでの改正で十分であり、当面は利用状況等を注視する
- ② 相続時精算課税制度など生前贈与制度の更なる拡充を求める
- ③ 納税猶予制度の特例措置の延長や一般措置の要件拡充を求める
- ④ 事業用資産を他の一般資産と切り離し、事業用資産への課税を軽減あるいは免除する制度の創設を求める
- ⑤ その他

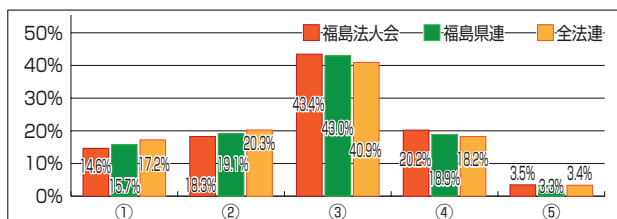


「納税猶予制度」とは、一定の要件を満たせば、相続又は贈与により取得した非上場株式に対応する相続税、贈与税の納税が猶予される制度。特例措置は一般措置より大幅に要件が緩和され、(1) 令和8年3月末までに特例承継計画を提出し、(2) 令和9年12月末までに実際に承継を行うことで、納税猶予割合が100%になります。

## 問8 地方税／固定資産税

地方の自主財源として大きなウエイトを占める固定資産税は、その税収が景気に左右されないことから地方税に適していると言われています。その一方で、負担感の高まりに伴って、その軽減に向けた抜本的な見直しが必要との意見があります。固定資産税を見直すとした場合、特に重視すべき点を2つ以内で選んで下さい。

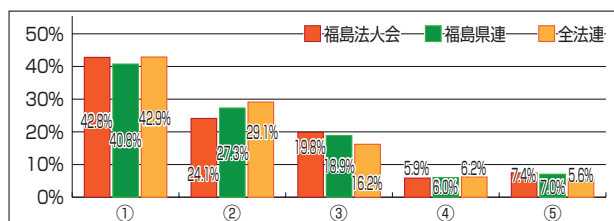
- ① 商業地等の宅地の評価方法を見直す
- ② 家屋の評価方法を見直す
- ③ 償却資産（事業用資産）への課税は廃止を含めて見直す
- ④ 免税点を大幅に引き上げる
- ⑤ その他



## 問9 所得税／基礎控除等

今回の税制改正では、物価上昇局面における税負担調整の観点から所得税の基礎控除が58万円に、そして就業調整にも対応する観点から給与所得控除の最低保障額が65万円に引き上げられ、所得税が課税されない給与収入額が103万円から123万円（年収200万円以下は160万円）に拡大されます（令和7年2月時点）。国民民主党はさらなる引き上げ（178万円）を求めています。このことについてどう考えますか。

- ① 国民の手取りを増やすため、課税最低限をさらに引き上げるべき
- ② 安定財源を確保するのであれば、課税最低限のさらなる引き上げに賛成
- ③ 今回の改正で十分である
- ④ 課税最低限の引き上げには反対
- ⑤ その他

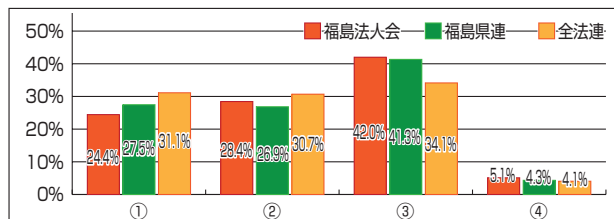


なお、2年間に限り、年収に応じて基礎控除に上乘せする措置が講じられ、上乘せ額は①年収200万円超475万円以下は30万円②475万円超665万円以下は10万円③665万円超850万円以下は5万円となります（令和7年2月時点）。

## 問10 厚生年金の適用範囲の拡大

現在、従業員51人以上の企業で週20時間以上働き、年106万円以上の賃金を受け取っている短時間労働者（パート等）は厚生年金の加入対象となっていますが、2035年までに段階的に企業規模要件（従業員〇〇人以上）を撤廃していくことなどが議論されています。いわゆる「106万円の壁」が撤廃されることについて、どう考えますか。

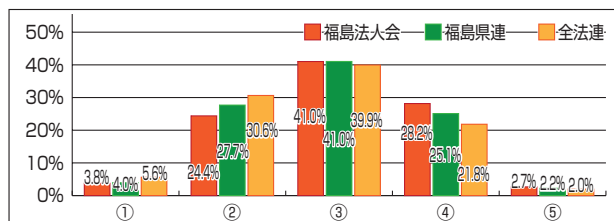
- ① 人材を確保するためにはやむを得ない
- ② 企業負担が増えるので反対である
- ③ この段階では判断できない
- ④ その他



## 問11 厚生年金の企業負担割合

政府は、新たに厚生年金に加入する人の「保険料負担軽減」措置として、労使折半となっている保険料を年収151万円未満までは企業側がより多く負担できる仕組み（企業負担割合は労働者と事業主の合意）が検討されています。この措置についてどう考えますか。

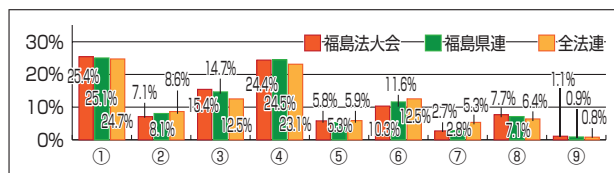
- ① 人材確保につながるので企業側がより多く負担してもよい
- ② 企業の負担軽減策が講じられるのであれば企業側が多少負担してもよい
- ③ 企業の負担軽減策が講じられたとしても企業側の負担は増えるので反対である
- ④ この段階では判断できない
- ⑤ その他



## 問12 行財政改革

国や地方では行財政改革に取り組みつつあるものの、国民が納得するような抜本的改革は行われておりません。国・地方においては、どの項目を中心に見直すことが望ましいと考えますか。特に優先すべき項目を以下より3つ以内で選んで下さい。

- ① 無駄な予算の排除や歳出の効率化
- ② 国と地方の役割分担の明確化と地方への権限移譲
- ③ 公務員の効率的な要員配置および人件費の抑制
- ④ 議員数の削減および歳費等の抑制
- ⑤ 客観的なデータに基づく政策立案とその効果検証
- ⑥ 特殊法人や独立行政法人の見直し
- ⑦ デジタル化による業務改革
- ⑧ 積極的な民間活力の導入
- ⑨ その他





# 税制アンケートの結果報告

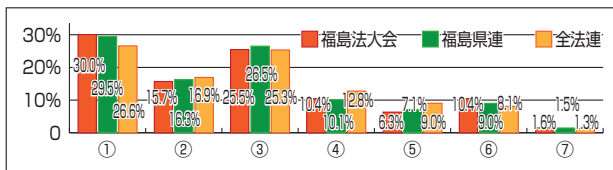


法人会では、令和8年度の税制改正に関する提言の取りまとめにあたり、会員の意向を反映するために税制アンケートを実施しました。  
福島法人会では、全会員へアンケートを郵送したところ456件もの回答をいただきました。  
お忙しい中、アンケートにご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。  
アンケートの結果を、次のとおりご報告いたします。

## 問1 中小企業向け税制

令和8年度税制改正を検討するにあたり、中小企業向けの税制（法人税関係）で特に重視すべき点について、以下より3つ以内で選んで下さい。

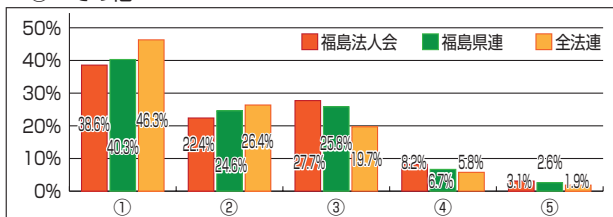
- ① 法人税の軽減税率の特例（15%）の本則化等
- ② 設備投資・研究開発を促進する税制の拡充
- ③ 雇用拡大・賃金引上げを促進する税制の拡充
- ④ 役員給与の損金算入の拡充
- ⑤ 交際費課税の損金算入枠の拡大
- ⑥ 欠損金の繰戻還付制度の拡充
- ⑦ その他



## 問2 企業の賃上げ

政府は「物価上昇に負けない賃上げを定着させる」こととしており、引き続き、中小企業の賃上げが大きな課題となっています。あなたの会社では今年の賃上げについてどう対応しますか。

- ① 賃上げをする
- ② 賃上げを検討したい
- ③ 賃上げは難しい
- ④ 賃上げをするか決めていない
- ⑤ その他

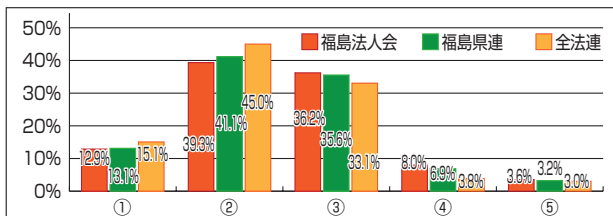


## 問3 価格転嫁

人件費や仕入価格などの上昇分について、あなたの会社では商品・サービスの価格に転嫁できていますか。

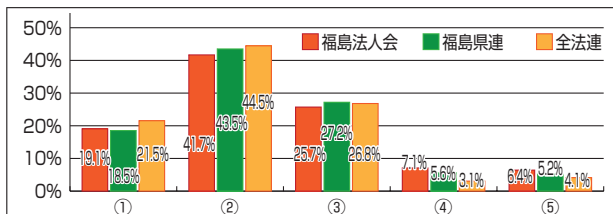
### (1) 人件費

- ① おおむね価格転嫁できている
- ② 多少ではあるが価格転嫁できている
- ③ 価格転嫁できていない
- ④ 価格転嫁はしない
- ⑤ その他



### (2) 仕入価格（その他経費）

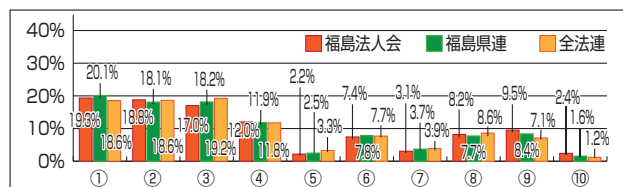
- ① おおむね価格転嫁できている
- ② 多少ではあるが価格転嫁できている
- ③ 価格転嫁できていない
- ④ 価格転嫁はしない
- ⑤ その他



## 問4 消費税／インボイス制度①

課税事業者の方にお聞きます。インボイス制度が導入されて2年目となりますが、どのような負担が増えたと思いますか。以下より3つ以内で選んで下さい（免税事業者の方は、空欄のまま結構です）。

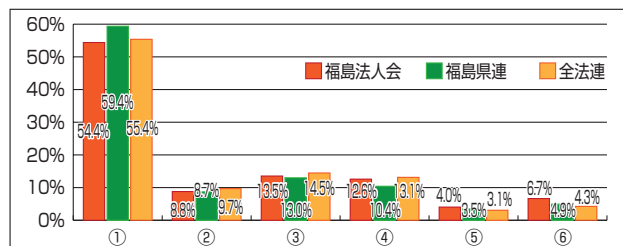
- ① 取引先が適格請求書発行事業者かどうかの確認作業
- ② 受領した請求書等がインボイスの要件を満たしているかの確認作業
- ③ インボイスの要件を満たしていない請求書等を受領した際の対応
- ④ 会計帳簿の記入や会計ソフトの操作
- ⑤ 従業員への社内教育・研修
- ⑥ 事務負担の増加による人件費の負担増
- ⑦ インボイス処理に伴う設備等への負担増
- ⑧ 消費税の申告・納税にかかる事務負担増
- ⑨ 特に問題なく対応できている
- ⑩ その他



## 問5 消費税／インボイス制度②

課税事業者の方にお聞きます。今後の免税事業者との取引についてお考えをお聞かせください（免税事業者の方は、空欄のまま結構です）。

- ① これまでと変わらず取引を行う
- ② 課税事業者ではない取引先とは、すでに取引を抑制等している
- ③ 免税事業者からの課税仕入れを80%控除できる令和8年9月末日までは取引を行うが、それ以降は取引を再考したい
- ④ 6年間の経過措置等が終了するまでは取引を行うが、その後は取引を再考したい
- ⑤ 簡易課税を適用しているので、免税事業者との取引でも影響はない
- ⑥ その他



<参考>インボイス制度実施後6年間は、①免税事業者からの仕入れについて、仕入税額相当額の一定割合を控除可能とする（令和5年10月からの3年は80%、令和8年10月からの3年は50%の控除が可能）経過措置や、②基準期間における課税売上高が1億円以下又は特定期間における課税売上高が5,000万円以下である事業者が行う課税仕入れについて、当該課税仕入れに係る支払対価の額が1万円未満である場合には、一定の事項が記載された帳簿のみの保存により仕入税額控除を認める負担軽減措置が設けられています。

## 問6 事業承継／後継者の決定状況

あなたの会社を事業承継するに当たって、現時点での後継者の決定状況等について、お聞かせください。

- ① 子や子以外の親族に事業承継する（後継者本人も承諾している）
- ② 親族外に事業承継する（後継者本人も承諾している）
- ③ 後継者は決まっていない（後継者候補に意思を確認している）

# 会員企業を応援! わっ!! 福島法人会



**株式会社一京(食彩ひとくち・THE Shuttle)**  
Interview 代表取締役 齋藤 京子 さん

【所在地】	〒960-8034 福島市置賜町8-38
【事業内容】	飲食業
【電話番号】	024-522-5400
【公式HP】	http://1-kuchi.com/



**Q. 店の紹介をお願いします。**

女性経営者ならではの心配りが魅力の居酒屋です。お料理はおふくろの味を目指し、家庭の味にひと工夫を加えた料理が楽しめます。

座席は、1階に掘りごたつ14席、カウンタース席、2階に和風モダンルーム30席と、椅子テーブルの「VIP空遊ルーム」が35席あります。和風モダンルームは3つの完全個室にもできます。お一人様から団体、家族連れのお客様にも来ていただいています。日曜定休ですが、予約があれば営業し、代わりに他の日が休みになることもあります。

また、スナック「THE Shuttle」も経営しており、ひとくちご利用から二次会スナックご利用でサービス価格でご案内します。

また、テイクアウトのお弁当も好評で、生田斗真さん主演のNetflix映画「Demon City 鬼ゴロシ」の撮影現場にも3日間ロケ弁を提供しました。夜の宴会が入っていない日に限り対応可能ですので、まずはお気軽にご相談ください。

**Q. 立ち上げられた経緯を教えてください。**

若い頃から料理が好きで、ホームページを開いては「お店を出したら?」と言われていました。良い物件があると声を掛けてもらい、パセオ通りで開業しました。その後陣場町に移転し、そこで東日本大震災で揺れながら、「宴

会場を持ちたい!」と現在の店舗に移転し、今年開業35周年になりました。

**Q. オススメのメニューを教えてください。**

メニューはぜひホームページを見てください。

宴会の予約をいただく時にはコース、予算、リクエストに加えて男女比や年齢層、アレルギーをお聞きして当日のメニューに反映します。同じ週に同じ方が来られても違うメニューをお出しします。公式LINEからは24時間予約いただけます。

**Q. 福島法人会に入会されたきっかけを教えてください。**

2017年の法人成りを機に、(株)A水技研の紺野社長に「勉強になるし、人脈も広がる」と勧められて入会しました。

**Q. クーポン事業へのご協賛ありがとうございました。**

福島駅東口はまだコロナの影響が残っていますが、福島をもっと盛り上げたいと思っています。「きて!みて!呑んでラリー」の実行委員長を務めており、8月27日(水)、8月28日(木)の2日間で5店舗5,000円、3店舗3,000円で回れるイベントを開催します。5人で5,000円チケットをシェアすることも可能です。ぜひご参加ください。

